

監護相当・生計費の負担についての確認書

(申立先) 館山市長 様

私は、以下に記載する者（注）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

この確認書は、認定請求書の「児童の兄弟等」と「手当の対象年齢の児童」の合計人数が3人以上になるときは、提出が必要です。
合計人数が2人以下となる場合は、この確認書の提出は不要です。

注 大学生年代：18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないものについて記入ください。

記

1	フリガナ 氏 名		生年月日					住所									
			平成・令和	年	月	日	都・道・府・県 市・区・町・村										
			□同居 □別居														
	個人番号（マイナンバー）		続柄	職業等（いずれかに○）※		通学先（学生の場合のみ）		卒業予定時期（学生の場合のみ）		申立人による監護相当の状況（いずれかに○）				申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）			
				1.学生（2・3・4・6年制） 2.無職 3.その他（ ）				令和	年	月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）				1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）		
2	フリガナ 氏 名		生年月日					住所									
			平成・令和	年	月	日	都・道・府・県 市・区・町・村										
			□同居 □別居														
	個人番号（マイナンバー）		続柄	職業等（いずれかに○）※		通学先（学生の場合のみ）		卒業予定時期（学生の場合のみ）		申立人による監護相当の状況（いずれかに○）				申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）			
				1.学生（2・3・4・6年制） 2.無職 3.その他（ ）				令和	年	月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）				1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）		
3	フリガナ 氏 名		生年月日					住所									
			平成・令和	年	月	日	都・道・府・県 市・区・町・村										
			□同居 □別居														
	個人番号（マイナンバー）		続柄	職業等（いずれかに○）※		通学先（学生の場合のみ）		卒業予定時期（学生の場合のみ）		申立人による監護相当の状況（いずれかに○）				申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）			
				1.学生（2・3・4・6年制） 2.無職 3.その他（ ）				令和	年	月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）				1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）		

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所

氏名

◎ 裏面の記入例をよく読んでから記入してください。

監護相当・生計費の負担についての確認書

(申立先) 館山市長 様

私は、以下に記載する者(注)について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること(以下「監護相当・生計費の負担」という。)を下記のとおり申し立てます。
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注 大学生年代：18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないものについて記入ください。

この確認書は、認定請求書の「児童の兄姉等」と「手当の対象年齢の児童」の合計人数が3人以上になるときは、提出が必要です。
合計人数が2人以下となる場合は、この確認書の提出は不要です。

※児童の兄姉(大学生年代)について記入ください

1	フリガナ 氏名 タテヤマ イチロウ 館山 一郎		生年月日 平成 16 年 2 月 2 日 令和		住所 東京都〇〇〇市△△△-△ □同居 ☑別居			
	個人番号(マイナンバー)		続柄	職業等(いずれかに○)※	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	申立人による監護相当の状況(いずれかに○)	申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 * * 3		子	1.学生(2・3・4・6年制) 2.無職 3.その他()	〇〇〇〇大学	令和 8 年 3 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()
2	フリガナ 氏名		生年月日		住所 都・道・府・県 市・区・町・村			
	個人番号(マイナンバー)		続柄	職業等(いずれかに○)※	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	申立人による監護相当の状況(いずれかに○)	申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)
						令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()
3	フリガナ 氏名		生年月日 平成・令和 年 月 日		住所 都・道・府・県 市・区・町・村			
	個人番号(マイナンバー)		続柄	職業等(いずれかに○)※	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	申立人による監護相当の状況(いずれかに○)	申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)
				1.学生(2・3・4・6年制) 2.無職 3.その他()		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 6 年 9 月 15 日(記入日)

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 館山市北条〇〇〇-△

氏名 館山 一郎

【監護相当】《交流や面会をし、世話をしていますか》
監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をいいます。
【生計の負担】《家賃や生活費を援助したり負担していますか》
父母等がその子の日常生活の全部及び一部を営んでおり、かつ、これを欠くとその水準を維持することができない場合をいいます。

◎ 裏面の記入例をよく読んでから記入してください。